

# Point

J R 東海労大阪修繕車両所分会分会情報

No. 162 2012.08.28

発行責任者

乾 眞規

編集責任者

教 宣 部

## 第4回定期大会を開催！新たな執行体制を確立

8月25日、J R 東海労大阪修繕車両所分会は、茨木市立男女共生センターローズWAMにおいて、第4回定期大会を開催しました。

大会は、多くの組合員、来賓が参加する中、石丸執行委員の開会のあいさつではじまり、議長に内山組合員を選出し進められました。

主催者を代表して、坂東分会長から「60歳以降の雇用を守る闘いとして、署名活動、国会議員や厚生労働省への要請行動の闘いをつくり出してきた。」「会社による組合掲示物撤去は、不当労働行為だと最高裁で認められたが、会社は、謝罪文を形式的に手交するだけで、今もなお組合掲示物の不当な撤去を繰り返し行っている。大阪仕業検査車両所分会の仲間たちは、会社による組合掲示物の不当撤去に抗する闘いとして、大阪府労働委員会に救済の申し立てを行った。我々も、この闘いに連帯していく。」と挨拶を行いました。そして、来賓の藤広本部副委員長からは「職場で発生する諸問題に対して、決して諦めず、流されず、みんなで助け合い、体を大切に闘いをつくり出して頂きたい」と叱咤激励を頂きました。

その後、昨一年間の総括と向こう一年間の闘う運動方針（案）を提案し、満場一致で運動方針が採択され、新たに乾分会長を先頭に闘う、新執行体制を確立しました。



大会終了後、場所を変えて、7月末日をもって退職された、工藤孝志さんの「退職激励会」を茨木・みよし寿司で盛大に開催しました。

**私たちJ R 東海労大阪修繕車両所分会は、「人間らしく」「労働者らしく」という言葉を胸に刻み、さらに労働者魂を発揮して組織の強化・拡大を目指していきます。**

